



こんにちは 府會議員

さこ祐仁 活動報告

2008年10月5日発行 No.66
千本出水下る十四軒町392
さこ祐仁事務所
Tel 075-813-2117



写真(上) TV「政治を語る」で訴える、私と新井府議。

◎さこ駆け歩き

京都府議会テレビ広報番組「政治を語る」に、商工労働観光常任委員会はテーマを「京都府観光のこれから『観光力』アップ!」で議論しました。

京都府は日本のみならず世界のなかでも魅力ある観光地としてその名は広く知られています。今後、①京都府における「観光」の課題とは? ②京都府の観光力アップのため、京都府の果たすべき役割について、③京都府観光のこれからについて、議論しました。

私は、「観光客の多くが日本の政治・経済・文化の中心であった京都に魅力を求めてきていますが、西陣の地域を見ても構造改革で西陣産業が衰退に追い込まれ、町屋も減少してきている現状です。

まちやの再生も大阪や東京資本でなくその地域に住む人たちが中心になって行なうことが必要です。そのためにも京都府による、府内すべての地域産業活性化のための支援策が求められています。

さらに、地域には多くの文化遺産・資産が生かしきれずに眠っています。上京区で見ると、伝統産業と町屋・観光を結びつけ、工房見学、商品展示、着付け、散策など、西陣地域丸ごと観光の対象としたらどうでしょうか。府内でもその地域の街づくりと産業の再生をあわせて行なっていくことで魅力が発信できます」と、話しました。

放映後、TVを見られた方達から叱咤激励のお声をいただきました。今後がんばります。

いよいよ解散・総選挙です! 上京区では9月21日室町小学校、28日翔鸞小学校で「議会報告演説会」を開催しました。比例での躍進、京都市選挙区一区でのこくた恵二勝利に向け、私もたくさんの「赤旗」読者や後援会、地域の著名な方を訪問して参加を訴えました。「後期高齢者医療制度はすぐに廃止してほしい」「姥捨て山制度はやめて福祉を充実してください」「景気をよくしてください。仕事がないのや」切実な訴えがたくさん出されます。アメリカいいな、大企業中心の政治を国民が主人公の政治へ変えれば、私たちの暮らしを守れます。あなたもお知り合いに広げてください。

写真(右) 聴衆の激励に応える、こくた衆院議員と、小池参院議員。



政治の担い手を変えても、政治の中身を変えなければ、国民の暮らしは良くなりません! 総選挙で、比例で日本共産党の躍進・1区こくた勝利で、自公政治に国民の審判を!

京都中小企業家同友会と日本共産党の懇談に22日、参加しました。

同友会の代表理事から「日本共産党との初めての懇談会を開催しました。厳しい環境の中で中小企業はみんながんばっているが、自助努力だけではうまく行きません。政治の力を発揮してほしい」とあいさつ。

日本共産党・渡辺府委員長は「当面めざしているのは、資本主義の枠内での民主的改革です。共産党は大企業に応分の社会的責任を果たすよう求め、その中で大企業と国民が共存できる社会を目指しています。その場合の『国民』の中には中小企業の皆さんも含めて考えています。日ごろの皆さんの苦労や悩みも聞かせてほしい」とあいさつ。

同友会から景況調査をもとに、「73%の企業が『景気が悪い』と答え、すべての業種で業況が悪化し、とくにこれまで持ちこたえていた京都市内や南部も悪化してきています。原油・原材料高騰の商品への価格転嫁ができていません」と話がありました。こくた恵二・衆院議員が「世界の資本主義が

曲がり角にきています。外需頼みで原油・穀物高騰の影響を真っ先に受ける日本経済のゆがみと自民党政府の無策が原因です。中小企業ががんばって雇用を守っているのに、大企業が正規から非正規へと雇用破壊をすすめています。経済政策の軸足を大企業中心から家計・中小企業へ移すことが重要です。西陣織工業組合の理事長とも話しましたが、経営者は投機などの『虚業』ではなく、中小企業の皆さんのように『実業』でなければいけません」と訴えました。参加者からは、様々な疑問・要望が出され、活発な懇談になりました。

最後に、新井府会議員団長は「知事はよく『地域再生』というが、肝心の『誰の手で』というのが抜け落ちています。中小企業はみんながんばっているのに、一部の先端企業だけを支援するという京都府の考え方はゆがんでいきます。『振興条例』は実現の具体化に向け努力したい。今後とも意見交換を続け、様々な問題と一緒に取り組んでいきたい」と結びました。私も、業者の気持ちに伝えられるように全力がんばらなければと、気持ちを新たにしました。